

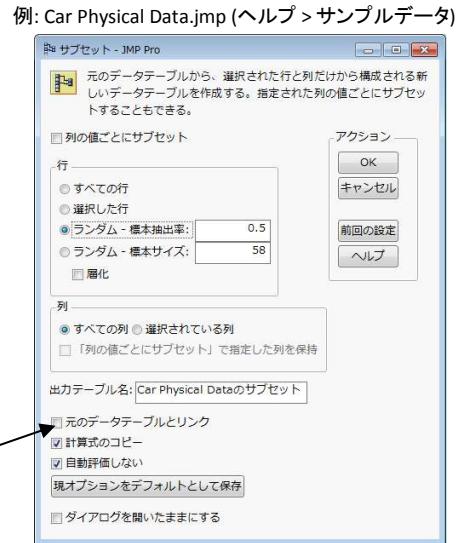
ランダムサンプリングと乱数データの作成

この資料では、JMP®でのランダムサンプリングと乱数データの生成方法を説明します。

ランダムサンプリング

1. JMP のデータテーブルから、**テーブル > サブセット** を選択します。
2. どのようにサンプルを選択するかを指定します:
 - **ランダム - 標本抽出率 (割合を指定)**
 - **ランダム - 標本サイズ (希望の標本サイズを指定)**
 - 変数の層別にサンプルを選択するには、**層化**にチェックを入れ変数を選択します。
3. 列の枠内で、**すべての列か選択されている列** を選択します。
4. **OK** をクリックして、ランダムサンプリングを実施します。

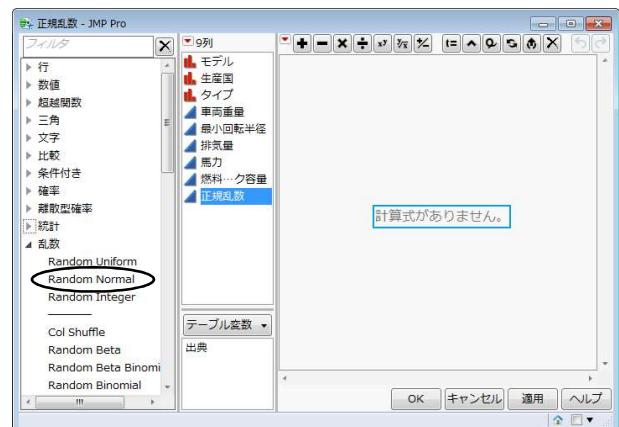
JMP は元のデータテーブルのサブセットを作成します。サブセットを元のテーブルにリンクするには、OK をクリックする前に元のデータテーブルとリンクにチェックを入れます。



乱数データの作成

手動での計算式の作成:

1. **列 > 列の新規作成** を選択します。
2. 列名に列の名前を記入します。ここでは**正規乱数**と命名します。
3. 列プロパティをクリックし、**計算式**を選択すると JMP 計算式エディタが起動します。
4. 左側の関数リストで**乱数**の横の灰色のアイコンをクリックし、使用したい分布を選択します。ここでは **Random Normal** を選択します。
5. **OK** をクリックします。



JMP は正規乱数データをシミュレートした新規の列を作成します。

すぐに計算式を作成 :

データテーブル上で連続変数の列を右クリックして、**計算式列の新規作成 > 乱数 > 正規乱数** を選択します。

計算式を含む新規の列がデータテーブルに追加されます。計算式の内容の確認や修正を行うには、新規に作成された列の列ヘッダーを右クリックして、**計算式**を選択します。

		燃料タンク容量	正規乱数
1		13.2	-0.944180038
2		18	1.4381386794
3		21.1	-0.365238324
4		15.9	-0.199099981
5		15.9	-0.298487491
6		16.4	-0.663731413
7		21.1	0.9178099111
8		15.7	1.4905097439
9		18	-0.354655356
10		18	2.9836162285